

令和4年度 沖館小学校経営方針

1 教育目標

やさしい子 かしこい子 たくましい子

2 努力目標

- ・思いやりの心もち、協力し合う子
- ・学んだことを活かし、自分の思いや考えを伝え合う子
- ・健康・安全に関心もち、心と体をきたえる子

3 学校経営の方針と重点

(1) 経営の基本方針

①教師の側が子どもに寄り添う姿を見せる。

社会全体が複雑化している現代において、いじめや不登校傾向児童が年々増加している。また各家庭における教育力も低下傾向にあり、同時に子どもたちの精神的強さや規範意識等も下降傾向にある。従って10年、20年前には通用した指導方法や指導技術等が通じない場面が生じている。子どもの心に響き、子どもに影響を与えるためには、子どもを愛し続ける姿を常に見せる教師、この一点に尽きると考える。本気になって子どもを愛し、育てる姿を見せ続けながら子どもと接してほしい。

②どの子に自己有用感を感じさせることの出来る、人間尊重の教育に努める

子どもは、家庭環境も違えば生い立ちも性格も異なっている。しかし、どの子も共通して言えることは自分自身を高めたい、賢くなりたい、皆に認めてもらいたいという欲求をもっていることである。これは、全ての子どもが生まれもった欲求である。この欲求を私たち教育に携わる者は、子どもに充足させなければならない。

私たちは、子ども一人一人の違いに目を配り、どの子にも「居場所」と「出番」を提供することが子どもの自己有用感につながるものと信じて日常の教育実践に努める。

③「優しさ」と「厳しさ」を大切にされた教育を進める

「優しさ」だけでは子どもは育たないし、「厳しさ」だけでも育たない。両者を上手に使いながら子どもの心に入り込む。「冷たさ」は必要ない。

④一校一心、総力を結集して教育活動を展開する。

一人より二人、二人より三人、ありきたりの言葉だが、力を合わせれば岩でも動く。職員一致団結して教育にあたりたい。分からないことは聞く。困ったら相談する。それらの行為が当たり前のようにになりたい。

(2) 経営の重点

① 確かな学力の育成を図る学習指導の推進に努める

学校生活の大部分を占めるのは授業である。その充実なくして教育目標の実現はありえない。授業改善は我々の責務である。問題解決的な学習、体験的な学習、指導と評価の一体化を図った授業で、「わかる喜び」「できる喜び」等、一人一人に存在感や成就感を体得させ、学ぶ意欲の向上につながる授業を推進することが大切である。授業にはビジョンをもち、1時間の授業で「わかった」「できるようになった」を体験・体感させるのが授業。

そのためには、校内研修の質的充実に心がけ、その成果を日常の授業に生かしていかなければならない。

また、学習意欲を喚起する手立て、家庭学習の習慣化を図る手立ても講じなければならない。

② 思いやる心、感動する心を育む教育の推進に努める

心を育てることの基盤は、信頼関係である。子ども相互の信頼関係、教師と子ども、教師と保護者の信頼関係を築くことが最も大切である。

そのためには、学級担任が人間的なふれあいを大切にした学級経営に努めなければならない。「認める」「励ます」を基盤にした温かな学級づくりを目指しながらも、状況に応じて厳しい指導も行う。

③ 健康・安全教育の推進に努める

・「挨拶の励行」・・・職員全員が見本

・「感染防止策の徹底」・・・マスク、手洗い、換気を合言葉に。慣れない

④ 地域の人々や保護者との連携を深める

開かれた学校として、積極的に地域の教育力を活用するとともに、保護者との対話に努めることが大切である。地域の人々や保護者の本音を聞き、お互いが補完し合える関係づくりに努める。

4 運営にあたって心がけてほしいこと

(1) 教育が成り立つための必要条件（信頼関係の確立）

① 「常に子どものそばにいる」「自分から足を運ぶ」を原点とする（子どもへの働きかけ、保護者の理解・協力を得るための基本姿勢）

② 報告・連絡・相談確認の徹底

・初期対応を誤ると信頼関係が崩れる。常に「最悪の事態」を想定して動く。

・教職員間での共通理解（個人に責任を負わせることのないように）

③ 指導・経営の記録をつけておく（可能な限り細かく）

・指導と評価、有事の際の資料として活用

(2) 教育公務員として特に留意してほしいこと

①交通ルールの厳守（酒気帯び運転、スピード違反）

- ・酒気帯び運転は、即、懲戒免職。仕事を控えた前日は自重する

②体罰の禁止

- ・感情に任せず冷静に
- ・指導がうまくいかない場面などには、複数の教員での対応を

③守秘義務の徹底

- ・子どもの人権、保護者の「知られたくない権利」を守る（了解なく電話番号等教えない）

- ・互いのプライバシー侵害には細心の注意を

④「勤務時間外でも、公務員として身分上守らなければならないことがある」を忘れない

(3) 特に今年度心がけてほしいこと

①まずは信頼関係の構築

- ・子ども同士、教師と子どもはもちろんのこと、教師と保護者の信頼関係も
- ・子どもとの信頼関係が強固なら、保護者との信頼関係も良好になる。まずは子どもの心をはっきりつかまえること

②複眼の教育を

- ・複数担任制、教科担任制を活用しながら日常的に情報交換を。

③当たり前を徹底的に

- ・身なり ・あいさつ、返事 ・学習規律 ・集団行動

④新型コロナウイルス感染防止

- ・こまめな手洗い ・マスクの着用 ・換気の徹底